

第53回全日本大学個人ボウリング選手権大会

監督・主将会議資料

- 日時 2022年2月16日(水) 11:15～
- 会場 新狭山グランドボウル
- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管 全日本学生ボウリング連合
関東学生ボウリング連盟

※ はじめに

- 1 . 監督・主将会議には各都道府県連盟、学連各校代表者 1 名の出席をお願いいたします。男子および女子が参加する都道府県連盟、大学も 1 名のみの出席となります。
- 2 . 今大会は新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインに基づき、無観客で競技を行います。事前に登録された監督（引率者）、選手、大会関係者等、特別に許可を得た者以外の入場は全てお断りします。
- 3 . 初回入場時に新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出してください。（健康管理表については提出の必要はありません。）提出がない場合、場内へ入場することはできません。
未成年者の場合は、親権者の署名捺印が必要ですのでご注意ください。
- 4 . 入場時、体温測定を行います。37.5 度以上の方の入場は固くお断りします。アルコール消毒液も設置しますので、出入場の際は必ず手指の消毒をしてください。また、体調不良等がある場合は必ず辞退してください。
- 5 . 監督（引率者）、選手、大会関係者等へ ID カードを配布しますので場内では必ず ID カードを着用してください。ID カードの使い回しによるなりすまし行為は禁止します。なお、ID カードは回収しませんので、必ずお持ち帰りください。
（ボウリング場に捨てて帰らないでください）
ID カードの再発行は、監督・代表者を通じて競技役員へ申告してください。所定の申請書に必要事項を記入の上、再発行手数料（300 円）をお支払いいただきます。
- 6 . ボールふきタオルと筆記用具は各自でご持参ください。
- 7 . ボウリング場内では、マスクの着用を徹底してください。フェイスガード・マウスシールドの類ではなく、「マスク」の着用をお願いします。また、着用の際は鼻・口をしっかり覆うように着用してください。競技中（投球中及び投球の待ち時間含む）も常時マスクを着用してください。
- 8 . 競技開始前の挨拶における握手、ハンドタッチ（グータッチを含む、他選手との肌と肌が接触する行為）は禁止いたします。競技中の声出し、声援・歓声（スピーカー等を用いる場合を含む）も禁止いたします。


- 9 . 競技会場内ではソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。また、場内での食事は禁止します。飲料の摂取は認めますが、その際は会話を謹んでください。
- 10 . その他、(公財)全日本ボウリング協会の新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインを遵守して行動をお願いします。ボウリング場外においても、[新しい生活様式]に基づき、新型コロナウイルスに感染しないための最大限の努力を行ってください。
<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/newlifestyle/index.html>
- 11 . 感染リスクの高まる「5つの場面(別紙)」にもくれぐれも注意してください。
<https://corona.go.jp/proposal/>

(別紙)

感染リスクが高まる「5つの場面」


場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。




場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。




場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。




場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



12. 2022年2月2日発、「協会主催大会参加時における新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底について」自宅出発から帰宅までの行動中すべてにおいて、細心の注意を払い感染防止対策の徹底をお願いいたします。

2022年2月2日

加盟団体各位
大会参加選手、監督・引率者各位

公益財団法人全日本ボウリング協会
専務理事兼事務局長



協会主催大会参加時における新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底について
(全日本年齢別選手権大会・全日本大学個人選手権大会)

平素より当協会の諸事業に格別のご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染者数が大幅に増加しておりますが、当協会では感染防止対策を万全に講じた上で主催大会・事業の開催を予定しております。参加選手および監督・引率者の方々には、大会会場内ではもちろんのこと、自宅出発から帰宅までの行動中すべてにおいて、細心の注意を払い感染防止対策を徹底していただくよう、注意喚起いたします。

記

- ① 当協会の「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」を改めて確認の上、内容を厳守してください。協会ホームページで最新版を公開しています⇒
<https://www.jbc-bowling.or.jp/coronavirus/>
- ② 自宅・開催地間の往来は、他所に寄ることなく直行直帰してください。
- ③ 大会期間中は、なるべく少人数で行動してください。
監督・引率者を複数登録している連盟は、少人数に分散して行動してください。
他都道府県の選手と行動（食事含む）を共にすることは原則禁止とします。
- ④ 大会期間中は、会場・宿舎以外への外出は必要最低限としてください。
特にジュニア選手に関しては、外出する際は所属連盟監督が必ず付き添い、短時間で用件を済ませるように指導してください。
- ⑤ 宿舎では、他選手との部屋の往来をせず、各自の自室で過ごしてください。
- ⑥ 夕食は宿舎の自室で、孤食としてください。
コンビニエンスストア、デリバリー、テイクアウトを利用し、外食は避けてください。
- ⑦ その他、やむを得ず外食する場合は、以下の点を厳守してください。
・感染防止対策実施中の飲食店を利用する ・マスク非着用で会話しない
・ソーシャルディスタンスを確保 ・対面で着席しない（飛沫防止柵のある席を利用する）
- ⑧ 大会会場内での食事は禁止です。
※会場に併設されている飲食店内の利用は可能ですが、上記⑥を厳守してください。
競技中の水分摂取は所定の場所で行い、飛沫が拡散しないよう十分に配慮してください。
使用済のペットボトル等は各自で責任をもって処分してください。



以上

各部説明資料

【総務部】

1. ボールバッグ送付

会場へボールバッグ等を送る場合は、大学名を記載のうえ 15 日(火)午後以降着くよう日時を指定してください。

復路は「ゆうパック」の着払いのみの取り扱いとなります。指定場所へ宅配伝票を貼り付けて置き、集荷業者不在時は伝票の 1 枚目(控)を持ち帰ってください。

また引き受けできる大きさは、**3辺計 170cm 以内、重さは 25kg まで**です。

重さ 25kg を超え 30kg 以下の荷物は「重量ゆうパック」での取扱となります。

- ・重さ 30kg を超える荷物は取り扱っていただけませんので、ご注意ください。
- ・ゆうパックでお預かりした荷物も、重さを超えていた場合は「重量ゆうパック」に変更し取り扱われます。

大会翌日の発送になる場合がありますので、配達期日指定は不可です。ご了承いただける方のみご利用ください。

なお、航空搭載地域へ送付の際、引火性液体(液状ボールクリーナー等)、高圧ガスを含んだスプレー缶(テープのり、シューズ消臭等)が入っている場合は引受されません。

2. 今大会期間中、競技会場内は禁煙となります。
3. 貴重品等については、各自が責任をもって管理してください。盗難等のトラブルが発生しても責任は一切負いかねます。
4. 大会期間中の使用ボールの損傷、盗難については一切責任を負いませんので、予めご了承ください。
5. 領収書を希望される際は、各連盟、各大学の代表者が大会初日に競技本部へお越しくください。
6. 各選手の健康管理には充分御注意ください。万一、大会期間中に会場内での事故や病人が発生した場合は、大会運営本部まで御連絡ください。
7. ボウリング場外では、都道府県名や大学名が表示されたユニフォームやジャンパー等の恰好は控えてください。
8. 配布の ID カードは会場内において競技中以外は首から下げて着用してください。競技会場から離れる際、ボールバッグなどに置いて帰らないようご注意ください。(翌朝入場時に必要となります)
9. 大会日程表で選手の入・退場時間を定めています。それ以外の時間の入場はできません。競技進行により時間が前後する場合がありますのでご注意ください。
10. 今大会、監督(引率者)の ID を着用している方は常時入場を認めます。
11. 他選手と接触行為のハンドタッチ(グータッチ、肘や足タッチを含む)は禁止いたします。
12. 2 日目および 3 日目のセンター入場時刻は午前 8 時 00 分からとなります。

【競技部】

1. シフト及び氏名、大学名などは大会プログラム、レーン配当表をご参照ください。
誤字脱字その他ご不明な点がございましたら競技本部まで申し出てください。
2. 競技スケジュールが予定通り進むよう全選手のご協力をお願いいたします。
投球時の牽制は1レーン牽制とし、競技進行が著しく遅れているボックスにはスローボウリング（競技規則第134条）を適用します。
3. 男女とも各日、会場への入場手続きをもって受付といたします。
4. ハンドコンディショナーの類はボウラーズエリア内への持ち込みが禁止されておりますので、使用される場合はボウラーズエリアの後方に置くようにしてください。
5. 競技フロアへのボールの持ち込みは4個以内とします。ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバッグ1つとシングルボールバッグ1つで運搬するなど、外形的に4個以内であることがわかるようにしてください。競技中のボールの入れ替えは可能ですが、競技が遅滞しない範囲で行ってください。5個以上の持込みが判明した場合、ボールを戻していただくよう競技役員より指導を行いますので、ご注意ください。
6. 競技前に挨拶を行いますが、握手はしないでください。また、ハンドタッチ、グータッチ（肘や足タッチを含む）も禁止します。
7. ボールを拭くタオルの用意はありません。タオルは各自でご用意をお願いします。
8. 予選および準決勝終了後、次点第2位まで発表します。なお、次点第3位以下の繰上げは行いません。
9. 会場内では、マスクの着用を徹底してください。競技中（投球中や投球の待ち時間を含む）も常時マスクを着用することとなっております。フェイスガード・マウスシールドの類ではなく、「マスク」の着用をお願いします。着用の際は鼻・口をしっかりと覆うように着用してください。

【進行部】

1. 競技中に生じた飲料ゴミ等は、その都度各自で処分してください。なお、毎年ボックス内にテープや飲み残しのペットボトルが残されていることが多く、センターから指摘を受けております。競技終了後は必ずゴミがない状態にしてから退出してください。
2. 式典について
 - ① 開会式について
 - ・開会式には、女子選手および男子 A 組の選手全員がマスクを着用のうえ、開始時刻までに競技フロアに集合のうえ、1 回戦投球レーンのボウラーズベンチに着席してお待ちください。23 レーンから 28 レーンは役員席として使用しますので、該当選手はコンコースにてご参加ください。監督（引率者）はコンコースにてご参加ください。
 - ・開会式終了まで、ボール等をボールラックおよびボウラーズベンチに出さないでください。ボールバックはベンチ後方に整理しておいてください。
 - ・入場行進は行いません。今大会、連合旗および連盟旗の持参は不要です。
 - ・国歌吹奏時は、ベンチ内、コンコースでそれぞれ起立し、姿勢を正して国旗に注目してください。「斉唱」ではありませんので、発声はしないでください。
 - ② 優勝杯返還について
 - ・予選 1 回戦開始前に行います。前年度優勝された選手はアナウンスに従い、優勝杯を持って中央へお越しください。
 - ③ 閉会式について
 - ・閉会式には表彰対象選手全員がユニフォーム、各自持参のボウリングシューズを着用の上、指定されたボウラーズベンチに集合してください。
(ボウリング場によるシューズの貸し出しはありません。他選手とのシューズの貸し借りも控えてください。)
 - ・表彰式にもマスクを着用してご参加ください。写真撮影時のみマスクを外してください。
 - ・表彰選手は名前を呼ばれたらすみやかに中央へお越しください。
 - ・表彰後は記念撮影を行います。放送の指示があるまでそのままの姿勢を保持してください。写真撮影の後には、もとのボウラーズベンチにお戻りください。
 - ・表彰時、オフィシャルカメラマン及び入場を許可されたマスコミ以外の写真撮影は禁止します。オフィシャルカメラマンの撮影した写真は J B C 公式フェイスブックへアップロードしますので、そちらをご参照ください。
 - ・男女選手権者の選手は閉会式終了後、優勝杯、賞状、メダルを持って速やかに中央へ集合してください。記念撮影を行います。

【審判部】

1. JBC会員証・ボール検査合格証は大会期間中、常に携帯してください。
2. 競技中、ピン立てやマシンのトラブル等、審判員の立ち合いが必要な場合は、挙手してお知らせください。
3. 投球後のコンピューターのスコアは、各自で確認してください。尚、スコアの訂正は挙手のうえ審判員立会いのもと、センタースタッフが行います。
4. 褒賞記録が出た場合は、そのシリーズ終了後、褒賞申請用紙を記入して競技本部まで提出してください。
5. 競技進行が著しく遅れている原因が競技者にある場合には、スローボウリング（競技規則第134条）適用となります。競技者は、自分の投球順で左右の隣接するレーンがあいている場合、直ちに投球体制を取ってください。1レーン牽制にて投球するよう、全選手のご協力をお願いいたします。

【認証部】

1. ボール登録について
 - ・原則、ボールの当日検量は行いません。選手は事前に所属連盟にてボール検査合格証の発行を受けてください。
 - ・会場に持ち込んだボールはすべてボール登録を行ってください。ボール置き場に置いてあるボールも同様です。使用しないボールはセンターに持ち込まないようにしてください。なお、競技開始後のボール追加登録は原則として認めません。
 - ・ボール登録には、下記URLより使用ボール登録証データをダウンロードし、事前の記入をお願いします。大会当日、会場ではくれぐれもお控えください。
使用ボール登録証は 1枚のみ印刷して持参し、ボール登録受付へご提出してください。
<http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/210423/>
 - ・使用ボール登録証提出の際にはJBC会員証とボール検査合格証をお持ちください。
 - ・お釣りが発生しないよう、料金表に基づき、事前のご準備をお願いします。原則、両替もお断りします。

登録料は以下の通りです。

個数	一個	二個	三個	四個	五個	六個
登録料	0	500	1,000	1,500	2,000	2,500
特別保管料	0	0	0	0	1,000	2,000
計	0	500	1,000	1,500	3,000	4,500

※7個以降は1球につき登録料をプラス500円ずつ、特別保管料をプラス1000円ずつ徴収します。

2. ランダム検量について

参加全競技者の中から無作為に対象者を抽出し、ボール検査を実施します。シフト終了後、主管役員より指名された選手は速やかにボール検査に協力してください。**登録されていないボールを会場に持ち込んだ場合、大会で記録したそれまでの記録は全て無効**となりますので、注意してください。

【記録部】

1. 記録ミスについて

1回目「警告」2回目「失格」となりますので各々十分ご注意ください。

2. 個人記録集計用紙およびスコアカードについて

個人集計用紙は所属連盟、大学名、シフト名、レーンNo.、JBC番号、名前（ふりがな）、選手サインなどを丁寧に記入した上で、**予選4回戦終了後、準決勝および決勝戦終了後**、速やかに競技本部に提出してください。

スコアカードは、**各シフト競技終了後5分以内に[正]**のみを記録提出箱に提出してください。

3. 大会入賞者一覧表のみ配布いたします。最終成績表は大会終了の翌日以降に各地区学連の代表者および各都道府県連盟へメールにて配信いたします。

緊急避難場所

避難場所 ⇒ **赤字**

(TEL)

三ツ木公園	500m	新狭山1-4	無し
中原公園	800m	新狭山2-13-1	無し
新狭山公園	1200m	新狭山1-4	2954-4878

